

令和3年度卒業生に学校の各代表からお祝いのことば

例年は卒業式の壇上で卒業証書の授与を受ける卒業生の雄姿を見送る各団体の代表からご卒業のお祝いの言葉をお届けいたします。

学校法人 保隣教育財団 理事長 笹本 晃

大自然が与えたコロナ禍という試練を乗り越えてのご卒業をお祝いいたします。
本来ならば卒業式では保善高等学校の設置者として代表祝辞をするところですが、時短開催による安全配慮を優先させて頂いたところですが、
保善高OBである私にとっての卒業生は、子や孫や歳の離れた弟にも等しい存在です。
明日から物理的な距離が離れても、保善がいつまでも互いを繋いでくれます。
保善の伝統教育が私達に刻み込んでくれた魂は、決して生涯朽ちることはありません。
来年3月に学校は創立100周年を迎えます。共に僕らのHOZENの100歳を祝いましょう。

保善高等学校PTA会長 柳橋 明人

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また卒業生の保護者の皆さまにも心よりお祝い申し上げます。まずは、卒業生保護者一同、本日はコロナ禍に卒業式を挙げていただき、厚く御礼申し上げます。理事長、校長先生をはじめ教職員の皆さま、3年間子どもたちに寄り添い温かく、時には厳しいご指導を下さり、子どもたちの心に刻まれていることと思います。

さて、卒業生の皆さん、今年度は新型コロナウイルスの影響により様々な計画の変更を余儀なくされたことでしょうか。後回しにすることなく、今やるべきことをしっかり見極めて行動することの大切さを感じた3年間であったのではないのでしょうか。新たな道に進む皆さんのご活躍を祈念いたします。私たちはいつでもあなたたちの味方です。

保善同窓会会長 森 松夫

卒業生の皆様、2万8千余名の同窓生への仲間入りを心より歓迎いたします。
99年の歴史は重く、保善同窓会の会員には「ゆりかごから墓場まで」ありとあらゆる専門性にたけた方々がおられます。先輩を頼り、後輩に手を差し伸べる、男子校ならではの関係の中で、貴殿にも大きく羽ばたいて頂きたいと願います。
ふと立ち止まった時、保善同窓会に大勢の仲間達がいることを忘れずにいらして下さい。

保善高等学校後援会 会長 千廣 明夫

卒業生保護者の皆様には、ご子息の高等学校卒業までのお導きへのご慰労の意を添えて、保善高等学校のご卒業をお祝い申し上げます。
後援会は在校生と卒業生保護者の集団として、学校の支援事業と会員相互の親睦を図る行事を実施して、先生方の労働環境や生徒の部活動の支援などを行っております。
発表して35年を経過して異なる世代の会員が兄弟姉妹や親子のように語らう様は微笑ましく、保善が取り持つ宝物です。卒業生保護者の皆様には、「ご子息がもたらしたご縁」として、生涯にわたる後援会活動へのご参加をお勧めいたしたく存じます。